



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月27日

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3316 URL <https://www.tcs-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉丸 弘二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 赤木 正人 (TEL) 03-3280-2711
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,325	△21.9	93	△65.5	94	△65.2	63	△65.6
2020年3月期第2四半期	4,256	15.0	269	3.2	270	2.8	184	0.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第2四半期	10.08		—					
2020年3月期第2四半期	29.37		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,205	3,257	62.6
2020年3月期	5,709	3,295	57.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,257百万円 2020年3月期 3,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,930	△9.8	300	△46.9	300	△47.6	200	△48.9	31.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	6,300,000株	2020年3月期	6,300,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	17,615株	2020年3月期	24,015株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	6,278,698株	2020年3月期2Q	6,274,164株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益は大幅な減少が続き、景気状況は厳しい状況で推移いたしました。また、緊急事態宣言の解除後、個人消費や生産活動など一部に改善の兆しが見られるものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の属するIT業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、顧客企業のIT投資計画の見直しや凍結、先送りが進められ、その結果、IT市場にマイナス効果を及ぼす一方、在宅勤務者が増加し、テレワークを始めとした働き方改革が浸透し、これに対応するソリューションへの需要は高まってきております。この傾向は、新型コロナウイルス感染症収束後も進展していくものと想定され、働き方に対するDX(デジタルトランスフォーメーション)投資の拡大が見込まれ、新たなビジネスチャンスが創出されており、IT技術の発展や利用はさらに加速化するものと認識しております。

当社は、このような事業環境の中、「最も安心してITインフラを任せられる企業」を企業ビジョンと定め、顧客価値を創造するため、「顧客を深く理解すること」「最適なIT資源を提供すること」「最新の技術経験を提供すること」「最新の製品を提供していくこと」を行動指針とし、マネージドサービスカンパニーとして顧客の持続的成長を支援するベストパートナーを目指し、①マネージドサービスカンパニーとしての認知度向上、②ロイヤリティの高い顧客関係の構築、③顧客ニーズにマッチしたマネージドサービスの提供を基本戦略とした営業活動を行ってまいりました。

当社が提供するマネージドサービスは、顧客企業の情報資産の管理や運用・監視業務にとどまらず、「ITを駆使して、“し続ける。”」をコンセプトとし、「業務の不満・不便・不足の解消」と「新たな価値の創造」を継続的に提供することで、顧客企業の「コア業務への集中」「さらなる業務効率化」「生産性の向上」を約束するアウトソーシングサービスとして展開してまいりました。また、顧客企業の成長への次の「一手」を支える統合型マネージドサービス「ITte」を展開してまいりました。

当社は、新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止対策として濃厚接触回避などの取組みを継続し、顧客及び従業員の安全配慮を第一と考え、従業員に対してマスク着用の徹底、手洗い・アルコール消毒の励行やテレワークの拡大、時差出勤など働き方の見直しに取り組んでまいりました。営業活動においては、WEB会議システムを活用したデジタル営業を展開してまいりました。その結果、受注状況は改善傾向にあるものの、売上状況につきましては、顧客先への立入り制限による納期遅延などにより、厳しい状況で推移いたしました。

当第2四半期累計期間におきましては、データセンターなどのマネージドサービス事業は堅調に推移し、また販売費及び一般管理費の削減に努めて参りましたが、新型コロナウイルスの感染症拡大影響により、顧客のIT投資に対する見直し(延期、縮小、中止)から、ハードウェア、ソフトウェア、導入支援サービスといったフロー案件が減少し、減収減益となりました。

この結果、当社の当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高3,325百万円(前年同四半期比931百万円減、21.9%減)、営業利益93百万円(前年同四半期比176百万円減、65.5%減)、経常利益94百万円(前年同四半期比176百万円減、65.2%減)、四半期純利益63百万円(前年同四半期比120百万円減、65.6%減)となりました。

また、受注状況につきましては、受注高は3,684百万円(前年同四半期は4,448百万円)、受注残高は877百万円(前年同四半期は603百万円、前事業年度末は518百万円)となりました。

なお、当社は「情報システム関連事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末の総資産は5,205百万円となり、前事業年度末に比べ504百万円減少しております。これは、主に現金及び預金が254百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が当第2四半期累計期間における売上高の減少及び前事業年度末における売掛金残高の回収等により615百万円減少及び有形固定資産や無形固定資産が減価償却費の計上等により91百万円減少したことによるものであります。負債については1,947百万円となり、前事業年度末に比べ466百万円減少しております。これは、主に売上高減少に伴う仕入債務の減少や前事業年度末における債務残高の支払い等により、買掛金が376百万円減少及び未払法人税等が74百万円減少したことによるものであります。純資産については3,257百万円となり、前事業年度末に比べ37百万円減少しております。これは、主に四半期純利益の計上が63百万円ありましたが、配当金の支払いが119百万円あったことにより、利益剰余金が59百万円減少及びその他有価証券評価差額が15百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ254百万円増加し、2,352百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は411百万円(前年同四半期は363百万円の支出)となりました。これは、主に税引前四半期純利益が94百万円、減価償却費の計上が132百万円及び売上高の減少や売上債権の回収に伴う売上債権の減少が635百万円ありましたが、仕入債務の支払による減少が376百万円及び法人税等の支払が94百万円あったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は38百万円(前年同四半期は39百万円の支出)となりました。これは、主にマネージドサービス案件に伴う投資等により有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出が39百万円あったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は119百万円(前年同四半期は117百万円の支出)となりました。これは、主に配当金の支払による支出が119百万円あったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の収束が現時点では不透明なことから依然予断を許さない状況が続いております。2020年5月14日に公表いたしました業績予想は、新型コロナウイルスの影響が2020年9月迄続いた場合を想定し、見積ったものでありますが、現時点では業績予想に変更はありません。今後の動向や回復度合いの予測に変化が生じた場合には、改めてその影響を見積り、業績予想修正を公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,098,343	2,352,446
受取手形及び売掛金	2,042,419	1,426,856
電子記録債権	22,594	3,000
商品	51,218	61,622
仕掛品	4,685	12,204
貯蔵品	493	519
その他	354,879	297,734
貸倒引当金	△208	△144
流動資産合計	4,574,427	4,154,239
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	48,856	46,573
工具、器具及び備品(純額)	732,878	637,099
建設仮勘定	1,848	18,787
有形固定資産合計	783,582	702,459
無形固定資産	48,904	38,866
投資その他の資産		
投資有価証券	93,514	115,480
その他	230,448	215,830
貸倒引当金	△21,236	△21,249
投資その他の資産合計	302,727	310,060
固定資産合計	1,135,214	1,051,386
資産合計	5,709,641	5,205,625
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,324,296	948,012
未払法人税等	108,406	34,386
賞与引当金	94,680	89,400
その他	547,599	529,700
流動負債合計	2,074,982	1,601,498
固定負債		
退職給付引当金	328,671	335,558
その他	10,900	10,900
固定負債合計	339,571	346,458
負債合計	2,414,553	1,947,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,740	867,740
資本剰余金	447,240	447,240
利益剰余金	1,971,417	1,912,216
自己株式	△22,970	△16,497
株主資本合計	3,263,427	3,210,698
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,660	46,969
評価・換算差額等合計	31,660	46,969
純資産合計	3,295,088	3,257,668
負債純資産合計	5,709,641	5,205,625

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	4,256,243	3,325,003
売上原価	3,535,047	2,825,379
売上総利益	721,195	499,623
販売費及び一般管理費	451,249	406,581
営業利益	269,946	93,042
営業外収益		
受取利息	40	35
受取配当金	622	615
その他	141	424
営業外収益合計	803	1,075
営業外費用		
雑損失	45	—
営業外費用合計	45	—
経常利益	270,704	94,118
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	387	0
投資有価証券評価損	—	98
特別損失合計	387	98
税引前四半期純利益	270,317	94,019
法人税、住民税及び事業税	85,797	23,614
法人税等調整額	278	7,096
法人税等合計	86,075	30,710
四半期純利益	184,241	63,308

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	270,317	94,019
減価償却費	147,296	132,968
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	43	△50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,120	△5,280
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,793	6,887
受取利息及び受取配当金	△662	△651
売上債権の増減額 (△は増加)	△440,789	635,144
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,842	△17,947
仕入債務の増減額 (△は減少)	△192,684	△376,283
固定資産除売却損益 (△は益)	387	0
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22,075	△17,578
その他	△35,875	54,692
小計	△268,528	505,919
利息及び配当金の受取額	662	651
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△95,481	△94,883
営業活動によるキャッシュ・フロー	△363,346	411,687
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△37,189	△34,635
投資有価証券の取得による支出	△1,816	—
無形固定資産の取得による支出	△862	△4,839
その他	455	962
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,413	△38,513
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△119,244	△119,071
その他	2,031	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,212	△119,071
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△519,973	254,103
現金及び現金同等物の期首残高	1,178,209	2,098,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	658,236	2,352,446

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響は、未だ予断を許さない状況が続いており、先行きを見通すことは困難ではあるものの、現時点においては会計上の見積りにあたって利用した事業計画等に大幅な変更はないものと想定しております。

(セグメント情報)

当社は、情報システム関連事業を主要な事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。